

富山市婦中町で確認されたカミツキガメ

草間 啓・不破光大・稲村 修

魚津水族館 〒937-0856 富山県魚津市三ヶ1390

A record of Snapping turtle *Chelydra serpentina* from Fuchu-machi, Toyama city, Toyama Prefecture, central Japan

Satoshi Kusama, Mitsuhiro Fuwa and Osamu Inamura

Uozu Aquarium, Sanga 1390, Uozu-shi, Toyama 937-0857, Japan

要約：北アメリカ原産のカミツキガメは、1960年代以降にアメリカから日本へペットとして輸入され、1990年代から逸出または遺棄された個体が全国各地の野外で確認されている。富山県ではこれまでに4例が確認されており、今回新たに富山市婦中町で1個体が確認された。

はじめに

カミツキガメ *Chelydra serpentina* は、北アメリカ原産で、背甲長約50cm、体重約30kgに達する大型の淡水ガメで、日本国内にはペットとして輸入された（環境省，2014）。頑健で飼育も容易だが、大型で成長するにつれて攻撃的になるため、飽きられて持て余されたりして、野外へ遺棄されることも少なくない（安川，2002）。

本種は、2000年に「動物愛護及び管理に関する法律（動物愛護法）」の改正によって特定動物に指定された。そして、2005年には「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）」の特定外来生物に指定され、原則として輸入禁止となり、飼育や移動が制限された。さらに、2006年には動物愛護法の改正により、カミツキガメ科のカメは飼育個体を自治体へ登録することが義務付けられた。この特定外来生物への指定を受けて、飼育下のカミツキガメが大量に遺棄されたようである（多紀，2008）。

富山県内では、これまでに福岡町（現・高岡市）下蓑新（稲村，1991）、高岡市古定塚（北日本新聞，1993）、射水市東太閤山（北日本新聞，2006）、高岡市古城公園（森ら，2010）の4例が確認されている。

今回、新たに富山市婦中町でカミツキガメ1個体が発見されたので報告する。

確認個体

カミツキガメ科 Chelydridae

カミツキガメ *Chelydra serpentina*

日時：2017年5月26日

場所：富山市婦中町安田城址周辺の水路

計測値：背甲長28cm、甲幅25cm、体重5.2kg

備考：一般市民が発見し、近くの公民館に届けた後、富山県自然保護課へ連絡。

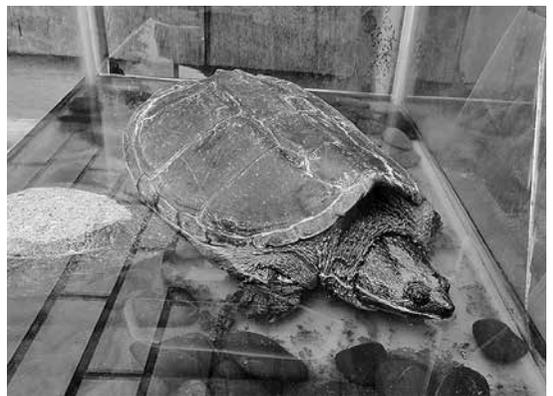


写真1 確認されたカミツキガメ

考察

日本国内には、1960年代以降にアメリカからペットとして輸入され、1990年代から、北海道～沖縄までの全国各地の野外で確認されている（多岐，2008）。共著者である不破は、1990年代には

富山県の観賞魚店で販売されていたことを確認している。今回の個体も、ペットとして飼育されていたものが逸出または遺棄されたものと考えられる。現在、千葉県印旛沼、東京都玉川上水、東京都光が丘公園(小林, 2008)、静岡県刈野川水系(加藤・衛藤, 2012)でカミツキガメの定着が確認されており、印旛沼では数百個体が捕獲されている(高山, 2014)。カミツキガメは背甲長20cmに達する頃に繁殖可能となるため(White and Murphy, 1973)、今回の個体(背甲長28cm)は性成熟していたと考えられる。しかし、富山県における本種の確認事例は、本報告を含め、1987年から現在までの30年間で5例と少なく、これまでに富山県で定着を示唆する事例も報告されていない。

本種は水温5℃でも活動することができ、水中で長期間越冬することが可能なので(矢部, 2003)、富山県の野外でも越冬可能と考えられる。

また、これまでに富山県での本種の確認された場所が、高岡市北東部～富山市南西部という平野部の農業用水路が多い環境に集中しており、他にも生息している可能性があり、注意が必要である(図1)。

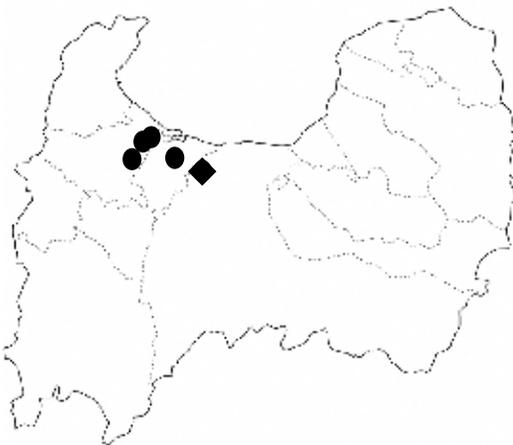


図1 富山県におけるカミツキガメ確認場所
(◆が今回の確認場所：●は過去の記録)

謝辞

今回のカミツキガメの情報を提供していただいた富山県自然保護課野生動物係の渡辺孝之主事、関連資料を提供していただいた富山市ファミリーパークの森大輔主査に厚く御礼申し上げます。

引用文献

- 稲村 修. 1991. 富山県における外国産両生類・爬虫類・魚類について. 魚津水族館年報 (1): 32-42.
- 加藤英明・衛藤英男. 2012. 静岡県狩野川水系におけるカミツキガメの定着. 東海自然誌(静岡自然史研究報告) 5号. 41-44.
- 環境省. 2014. カミツキガメ防除の手引き. <https://www.env.go.jp/nature/intro/3control/tebiki.html>. 2018年1月10日閲覧.
- 北日本新聞. 1993. 「怪獣! ? カミツキガメです 高岡市竜谷高校 生徒ら飼育に悪戦苦闘」. 8月12日朝刊. 14.
- 北日本新聞. 2006. 「小杉にもカミツキガメ 住宅の庭で捕獲 誰かが捨てた?」. 7月14日朝刊. 37.
- 小林頼太. 2008. 日本におけるカミツキガメおよびワニガメの定着危険性: 新聞記事を用いた外来ペットの逸出モニタリング. 爬虫両棲類学会報, 2007巻 (2). 101-110.
- 森 大輔・南部久男・福田 保・後藤優介・加藤智樹・荒木克昌. 2010. 富山県における両生類・爬虫類の記録(2009年). 富山の生物 49: 63-66.
- 高山順子. 2014. 特定外来生物カミツキガメの問題と対策について. ワイルドライフ・フォーラム Fail/Winter. 8-9.
- 多紀保彦. 2008. 日本の外来生物. 平凡社, 東京, 480.
- White, J. B. and G. G. Murphy. 1973. The reproductive cycle and sexual dimorphism of the common snapping turtle, *Chelydra serpentina serpentina*. *Herpetologica*, 29. 240-246.
- 安川雄一郎. 2002. カミツキガメ. 日本生態学会(編). 外来種ハンドブック. 地人書館, 東京. 94.
- 矢部 隆. 2003. 外来ガメが変える水環境: 外来種が引き起こす諸問題 (<特集>第9回シンポジウム). コミュニティ政策研究5. 愛知学泉大学. 3-18.